

ウクライナ人の生の声：

母国の過去、現在、未来



イーゴル イェブトゥシュク

日本ウクライナ友好協会 NPO Kraiany（クライアニ）

本日は覚えていただきたいこと

1. ボルシチはウクライナ料理です。
2. ウクライナ語の「ありがとう」 は 「デャークユ！」(Дякую!)
3. 平和は努力



過去 現在 未来

Q ウクライナとロシアは中よさそうなイメージ
がありましたけど、なぜ戦争を。。

実は仲良くなかったです。

* ロシア/ソ連は帝国であり、
ウクライナをずっと支配しようとしていました

ウクライナの現代歴史でもっとも残酷な出来事

ホロドモール

ソ連によって、ウクライナで行われた人口的な飢餓



1932～33年

～700万人が亡くなった

共食い

ジェノサイド

そして 1938年12月26日...

私のおじいちゃんが生まれました

ウクライナ
Україна



リュボムリ

祖父が小さい頃、第二次世界大戦（1939～1945）を体験しました

その頃の思い出を聞いてみました。

- ・ 畑の上にドイツ軍の飛行機の爆弾が落ちていた
- ・ ロシア軍が強盗ばかりしていた
- ・ 父親が亡くなりました
- ・ お兄さんも軍隊へ行ったが、前線までたどり着けず、無事に帰りました

戦争後はソ連支配下の生活

- ・ 家族の苗字がバラバラになりました
- ・ 1946～1947年にウクライナの東部に再び飢餓があって、多くの人が西側に移住してきた
- ・ 戦争後はソ連政権から税金ばかりで、すべてが撤収されていた（卵まで）
- ・ 1949年まで住んでいた土の中のシェルターもソ連政権関係者に破壊された
- ・ 海外のラジオ電波はすべてが妨害されていて、ノイズしか聞こえなかった

一言でいうとソ連の支配下にある人生はつらかった。。。

1989年からソ連が揺らぎ始めて、ウクライナの独立運動が始まりました

* 父親も参加しました



1991年8月24日 やっと独立

しかし、事実上はまだロシアから独立していなかった

- テレビ、映画、本はロシア語が多かった
- ウクライナの外交がロシアの言いなりだった
- 汚職はひどかった
- 不正選挙の問題

それが2004年まで続いていて、国民が変化を求めた

2004年にオレンジ革命が始まりました

* 母親も参加しました



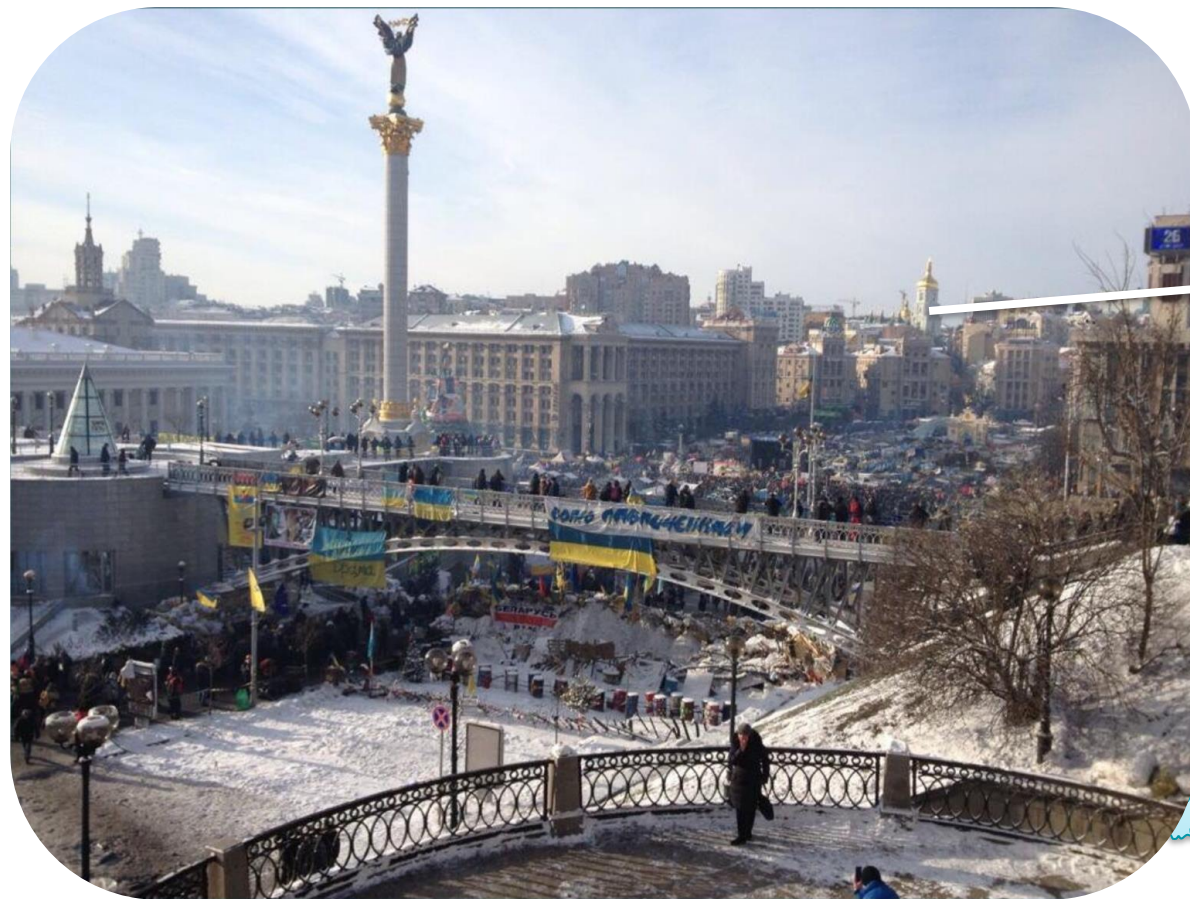
オレンジ革命は成功
やっと国が変わるおもわれたが、
徐々に再びロシア化が始まりました

2013~14年はマイダン革命(別名：尊厳の革命)

* 今回は私と弟が参加しました

* ここからロシアのプロパガンダが強化しました





キーウ

独立広場
(マイダ
ン)

ウクライナの未来を
味わいました...

マイダン革命は成功した
やっと国が変わると思われたが、

2014年3月にクリミア併合が始まりました

ウクライナ
Україна



クリミア半島

日本の記者とクリマイ半島へ通訳として行きました

*プーチンがロシア兵がいなかったと言っていたが、自分の目の前にいました



*住民投票もでたらめ

クリミア早くも「祝勝」

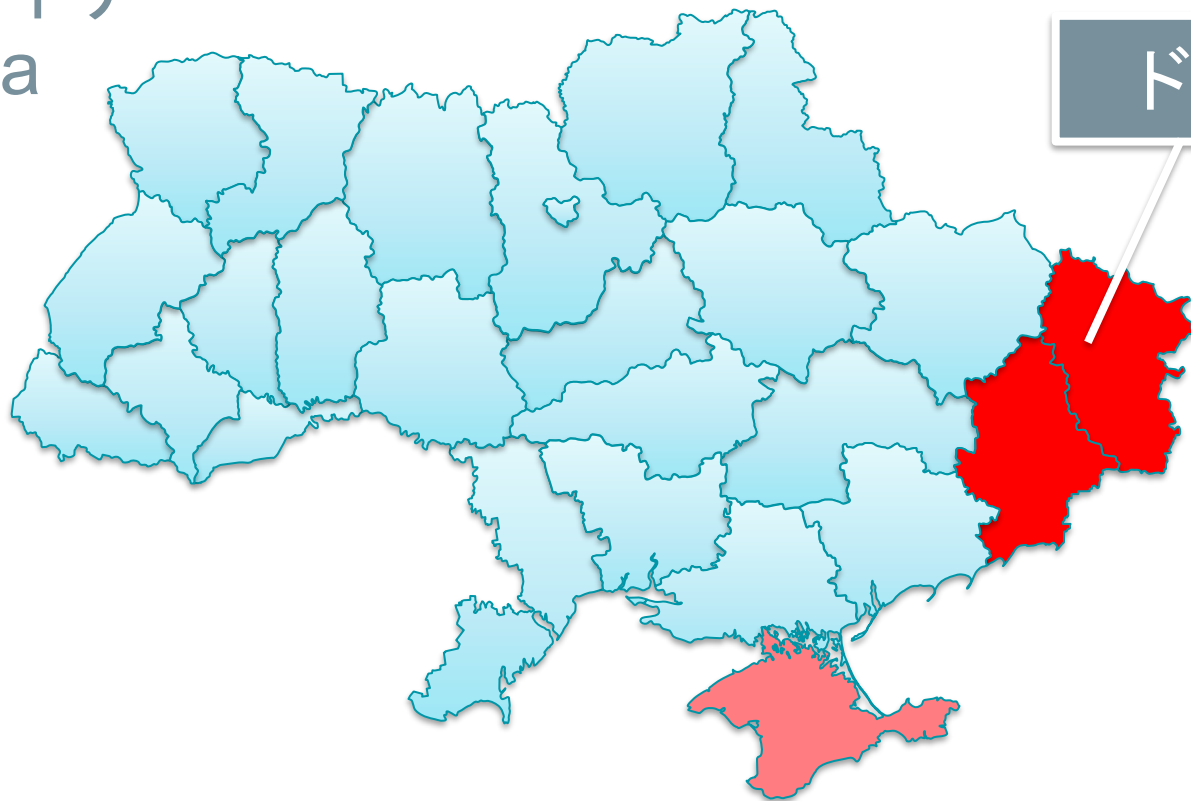
住民投票実施 ロシア編入承認へ



少数派

次はドンバス地方

ウクライナ
Україна



ドンバス地方

日本の記者とクリマイ半島へ通訳として行きました。

* 同じくプーチンがロシア兵がいないと言っていたが、自分の目の前にいました



* 同じく不法な住民投票



- 日本の大学の大学院に入学して、日本に住むことになりました
- ウクライナをサポートするために、ウクライナ人のコミュニティKraianyの活動に参加し始めました
- KraianyのNPO法人としての設立の際に初期メンバーとなりましたため、現在は理事を務めています

NPO Kraianyとは

日本ウクライナ友好協会 NPO「KRAIANY」は
東京を拠点とする非営利団体

<https://www.kraiany.org/ja/>

ミッション：

国際交流活動を企画・実施することにより、
世界の国々の相互理解と国際親善を促進すること

活動内容 (侵略前)

- ・ 文化的イベント
- ・ 子供用の日曜学校 「ジェレルツェ」
- ・ ワークショップ

イベント

- ・ クリスマス
- ・ ウクライナデー
- ・ など



日曜学校 「ジェレルツェ」



2009年に開校

開催頻度：月/2回

生徒の数：約40名の子

授業内容：

ウクライナ語や文化



ワークショップ

- ・ ピサンキ（殻の上に絵が描かれた卵）
- ・ モタンカ（ウクライナの人形）
- ・ など



ロシア侵略以降、活動内容



ウクライナの人道的支援

- 戦争の影響を受けた人々を支援するための資金調達
- 現地ボランティアと協力

日本語でのニュース配信

- 日本においては、ウクライナで起きている出来事に対しての理解や正確な報道に不可欠な信憑性の高い情報ソースが不十分であったから

2022年1月から
ロシア軍がウクライナの国境の近くに
軍を集め始めました

* 戦争が始まるに違いないと分かっていました

自分にとって、家族はどれだけ大事なものが分かりました

遠く離れているウクライナの友達、お世話になった先生たち、
思い出の場所、実家、ペット、高校、大学までの道

徐々に絶望感が増していた

これだけ頑張って良い国のウクライナを作ろうとしていたが、

すべてがものすごい力で破壊されるかもしれない

たくさんの人が殺されるかもしれない

また昔のソ連みたいに奴隷になるかもしれない

本当にこれを止める方法はないのかな...

未来はもうないかもしれない...

そこで思い出したのは

マイダンで感じた好きな未来のウクライナの味...

泣きながら、頭の中ですべてが整理されて

心で決めました

自分ができる分野で戦います。

同じ気持ちはほとんどのウクライナ人に沸いてきて、
どんどん仲間が増え始めました。

周りは平和な普通の生活をしているうちにお互いを支え
ていました。

2022年2月24日に ロシアの全面攻撃が始まりました

専門家がウクライナは一週間も持たないと言っています...

侵略の日の朝を従妹のアナスタシアさんの言葉を借りて、 表現したいと思います。

ベラルーシから12kmくらい

旦那さんからの電話で起こされて、

戦争が始まった、直ぐ来るから荷物を集めて、
逃げようと言われた。

子供を起こして、パニックになっていた。

息子のことがとても心配だった。

これから生まれる赤ちゃんのことも。

15分で旦那さんがきて、車に乗って、実家へ向かった。
爆発音がどんどん大きくなっていた。

家族の一員の猫も一緒に連れてきた。

実家に着いたら、シェルターを作り始めた...



255日が立ちました...

過去 現在 未来

現在の状況

- ウクライナは世界から軍事的や経済的なサポートを受けています
 - 多くの国では避難民制度を作りました
 - ロシアが世界では批判されています
 - ロシア支配下にあった地域では、ウクライナ人の民間人に対して、拷問が行われ、死刑のケースもあります。
 - 子供たちが無理やりにロシアに連れ去れ、居場所が不明
- (11月/6日:10 750人)
- ウクライナの電力インフラがどんどん破壊され、今年の冬は心配です。
 - あと一步間違えたら、世界は核戦争になりそうです。

2022年2月侵攻以降のKraianyの活動内容



- 現地にいるボランティアやNGOを通じて、被害の大きかった地域の々を支援するための資金調達（募金）に注力し、ハルキフ、スームイ、ムィコライフ、マリウポリ近郊などに支援金を送付している。

集めた資金は、ボランティアに直接送られ、食料、医薬品、医療機器、発電機や輸送用の燃料などの調達に使用されます。

（SWU Japan、在日ウクライナ大使館、個別企業、自治体などと協力）

- ウクライナの学生の受け入れサポート
- 避難民受け入れに関連する業務。（仕事の紹介、子供の教育の相談、市/区役所の支援紹介、など）（個別企業、自治体、メディアと協力）
- ウクライナの事情を説明するセミナー開催



NPO Kraiany (クラヤニ) の支援ネットワーク





NPO Kraiany (クラヤニ) の支援先一覧

1 キーウ市 アナスタシア夫婦



夫と二人で日用品や防寒服、毛布の品をシェルターにいる年配な人に配達

2 ハリキヴ市。 アリーナのグループ



夫と二人で日用品や防寒服、毛布の品をシェルターにいる年配な人に配達

3 ハリキヴ市。 タラスとナタリア夫婦



夫と二人で日用品や防寒服、毛布の品をシェルターにいる年配な人に配達



NPO Kraiany (クラヤニ) の支援先一覧

4 ハリキヴ市。 ヤナのグループ



元ITエンジニアヤナは避難ガイド活動。
避難者への日用品や食材の配り

5 ドニプロ市。 アンドリーとディアナ夫婦



年配者や困ってる人間へ薬
や日用品を配達

6 ミコライヴ市。 マラット経営するカフェ



小さい店で毎日1200食を作って、
病院や子供たちに配食。
戦争開始から休みなし作り続けます



NPO Kraiany (クラヤニ) の支援先一覧

7 ヘルソン市。 レーラ



占領したヘルソン市に厳しい状況の中、
食材を買い、
年配の人や不自由な人などへ配達

8 ポーランド。 日本で住んでるサーシャ



日本住んでるサーシャは日本から必要な
医薬品を支援センターに持ってきて、
ボランティア活動

9 スムイ市 ボグダンのグループ



砲撃や戦闘が激しくスムイ、負傷者が多い
ので、病院や一次診療所に医薬品や医薬
部外品へ配達

必要な支援物資の事例



- ・ 止血帯
- ・ カイロ
- ・ チェストシール
- ・ パワーバンク
- ・ ヒートテック
- ・ など



課題：



- ・ ヨーロッパは品切れ
- ・ 質のいいものではないと、敗れる
- ・ 日本で買う場合、待たなければならない
- ・ 個人で送る方法しかない

活動実績 避難者の支援



日本に避難してきた方々向けに支援も行っています。

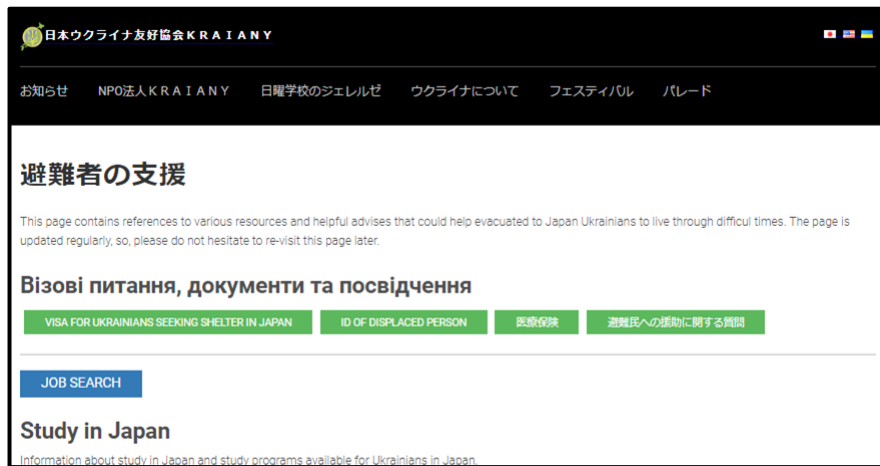
夏期間に避難者向けの講座を開きました

- 日本語のレッスン
- リラックス出来るヨガレッスン
- 日本の文化紹介
- 子供のウクライナ語で本の読み聞かせなど



避難してきた方々が交流できる場（ツアーやイベント）、
そして言語面でのサポートも行っています。

活動実績 避難者の支援



日本で生活していけるための情報提供
(情報サイトを開設、問い合わせ対応)

- 日本に避難するに際しての手続きなど
- 日本語学習
- 各地方の支援まとめ
- 日本の夏の過ごし方など

毎週程度で情報追加と更新をしています。

活動実績 避難者の支援



日本へようこそ!
Вітаємо в Японії!

онлайн семінари
БЕЗКОШТОВНІ

Українська громадська організація НПО Країни запрошує всіх українців в Японії на безкоштовні онлайн семінари. Ми дуже раді, що українська громада в Японії збільшується кожного дня, та бажаємо підтримати Вас на шляху налагодження життя у новому середовищі.

- ✓ Як сходити до лікарні?
- ✓ Де купити ліки?
- ✓ Як вивчити японську мову?
- ✓ Як знайти працевлаштування іноземцю?
- ✓ Куди сходити з дітьми?
- ✓ Де можна проконсультуватися та дізнатися більше про закони та податки?

Якщо Вас цікавлять ці та інші питання та є бажання дізнатися більше про життя в Японії, приєднуйтеся до наших семінарів.

Семінари проводять фахівці різноманітних сфер (лікування, навчання, працевлаштування, побутові питання, особливості повсякденного життя тощо) – все, що потрібно знати іноземцям, щоб звикнути до життя у новому середовищі.

Тривалість одного семінару – 1 година: лекція 40 хвилин, питання та відповіді 20 хвилин.

Семінари проводяться двома мовами одночасно – японською та українською.

Розклад найближчих семінарів, теми та хто буде проводити семінар - дивіться на обороті. ➡

Для отримання посилання на участь в семінарі, відправте запит на поштову скриньку
olena.svidran@kraiany.org

日本で生活していけるための情報提供（オンラインセミナー）も行っています。

- 産婦人科に関わり方
- 市販やオンラインで買えるお薬
- 日本語学習方法と教材
- 日本での子育て
- 日本での就労
- 日本の法律と税金

様々なテーマを通して詳しい専門家が講演します。同時通訳してウクライナ語での解説しまし。その後、QAセッションで皆さんの悩みにお答えします。

活動実績 避難者の支援



他の団体との活動



ラジオ番組で避難者に役に立つ情報の提供

毎日（月 - 金）InterFMのラジオ番組でウクライナ語での放送に協力しています。

ニュースと避難者に役に立つ情報を発信しています。

活動実績 避難者の支援



他の団体との活動



日本・ウクライナ教育パスウェイズ

パスウェイズ・ジャパンと協力してウクライナから来日する学生のサポートをしています。

- 来日する際のオリエンテーションやレセプションなどでの迎え
- その後、連絡しつづけて必要に応じて適切な対応

今年は100人



避難者向け活動 パートナー

避難民をサポートするために、他の団体とも連携をし、活動を行ってる
Pathways Japan、YMCA Japan、日本財団、自治体、など



学生・避難民受け入れ関連活動

日本へのフロー

ウクライナ



ご協力の機会

ウクライナセンター



- 日本には約4000人のウクライナ人が在住している。
- 11月6日時点では、1986名以上のウクライナ人が日本に避難しており、私たちのサポートを必要としている。
- 9月から日曜学校の生徒の増加（30人～50人まで）によって、現在借りている施設の場所が不足となります。

在日ウクライナ人やウクライナから避難した人々に情報を提供や教育の場を与えるするために、NPO Kraianyは、海外にあるJICAの日本センターと同様なイメージの

ウクライナ・センターの企画に取り組んでいます。

ご協力の機会

ウクライナセンター



施設の目的は、

- 日本に到着した避難民のサポートと、「憩いの場」として使用されること
- 日本人の方にウクライナとその文化を知ってもらえる場所
- 日本におけるウクライナ文化の中心地になること
- 日本では数少ないウクライナの本などを取り揃えたウクライナ語の図書室の設置
- ウクライナ語/ウクライナ文化とウクライナ人向けの日本語の教育の場

過去 現在 未来

ウクライナはIT大国になる

- ・ 全体的にウクライナ人のITリテラシーは高いと言われています
- ・ 既に運転免許、身分証明書からワクチンの情報まで一つのアプリで管理できます
- ・ 既にアウトソーシングの国としてよく使われます
- ・ 国のプロセスの管理透明化や効率化につながります

形より意味を重視する思考

- ・ 国連、赤十字、アムネスティ、等の組織は表がこのような課題を解決したり、犠牲者を助けるはずですが、蓋を開けると、疑問がたくさんあります
- ・ 素早く正確に課題を解決できれば、形やプロセスにはこだわらなくてもよい
- ・ ステータスやブランド力よりは、機能性を重視する
- ・ ルールが意味がなければ、柔軟に変えれば良い
- ・ 悪いものは悪いとはっきり言う

一人一人の責任感

これからの世界では、政府が親みたく国民の面倒を見るのではなく、一人一人の方が責任を持つ必要がある

ウクライナ人は

- 独立運動
- オレンジ革命
- マイダン革命
- 戦争

を経て、一人一人の行動がこの世界を変えられる力があると分かりました

最後に...

本日は覚えていただきたいこと

1. ボルシチは **ウクライナ料理**です。

2. ウクライナ語の「ありがとう」 は **「Дякую！」
Дзякую!**

3. 平和は **努力**

従妹のアナスタシアさんは元気です。



日本の皆様！応援ありがとうございます！

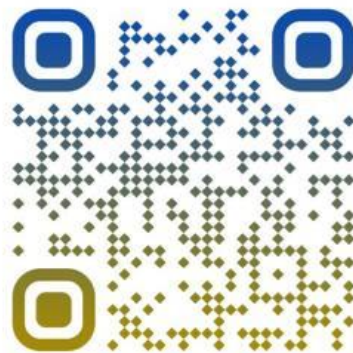
おじいちゃんも
元気ですよ



ウクライナを
支援してくださる
日本の国民に
感謝します！

NPO法人Kraianyは、ウクライナ人道援助資金を集めるための口座を開設しました。

#StandWithUkraineJapanとの共同活動によって集まった募金など、資金の使用用途・詳細はこちらで公開しています：<https://www.kraiany.org/donate.html>



募金口座番号

口座名義 三菱UFJ 銀行 (Mitsubishi UFJ)

支店 品川駅前支店 588

預金種目 普通

口座番号 0516596

口座名義 ニホンウクライナユウコウキヨウカイクラヤヌイ

